

さあ、チャレンジしてみよう

Let's try English!

Message FROM
Ben Gibson
Vol.99



Nakasendo -Part III

I woke up after a fairly comfortable sleep. I had a small breakfast of onigiri and fruit, put my tent away, and started pushing the tricycle back up the mountain. But I didn't have far to go. I was only a couple of kilometers from the top of the pass! I made it to the top, and was able to ride again. The air was still very cool at the top of the mountain, and it was cold riding down towards Shimo-suwa.

My brakes were...

The trip down was much faster than the trip up! I am glad that I didn't have to pedal, because my feet were sore and sunburnt from walking in sandals the day before. However, the road down to Suwa is steep, and I had to use my brakes continuously. Soon, my brakes were making a horrible noise! They were screeching very loudly, and I was afraid that they would break! I could see my front brakes getting smaller and smaller as I descended the pass. Luckily, I made it into Shimo-suwa without an accident, but I immediately started looking for a bike shop to fix my brakes. I found one, and had lunch at a fast food place while my bike was repaired. It was a little expensive to fix, but I still had more passes to cross, and I didn't want any problems. I also went to a small hot spring for a shower. I tried to get in the tub, but my sunburned feet hurt too much! I also stopped at a huge shrine, and saw a very unusual Buddhist statue. It looked like a snowman, and it was made out of one very big stone, and a smaller one.

The Suwa pass was torture!

The weather was very sunny and hot that day, and before I started up Suwa pass, I took a nap by a small waterfall at a shrine. Although Wada pass is much higher, it was an easy climb. The Suwa pass was torture! It is a steep hill, and the road goes straight up! I could only push my trike for 10 steps at a time, and then I had to rest! It was hard work. Even after I made it to the top, I had to walk my bike down the other side, because it was so steep! After that, I continued riding until I arrived at Seba (洗馬). Between Suwa and Kiso, the Nakasendo is full of old houses and shops, and the hills are green and picturesque. It was a beautiful, lazy ride until I arrived at Niegawa.

One night in my tent.

I set up my tent by a baseball field near the river. I thought it was a perfect spot, but when it became dark, I started hearing many, many strange noises! In a tent, you can hear everything outside, and your hearing becomes very sharp! Every noise was a little scary, and I could hear animals walking around. Finally I saw a shadow move across my tent. It was a tanuki! It started to touch my tent, I think it was trying to bother me for fun! I yelled "Leave me alone!", and I tried to go to sleep, even though I thought I heard hungry bears moving in the bushes..

中山道 パートⅢ

とても快適な睡眠の後、私は目覚めました。おにぎりと果物で簡単な朝食をとり、テントを片付け、そして三輪車を押して山を登り始めました。しかし、そんなに遠くはありませんでした。私は、峠の頂上からほんの2、3キロの所にいたのです！頂上に辿り着き、再び三輪車に乗ることができました。山の頂上では空気がまだとても涼しく、下諏訪に向けて三輪車を走らせている時は、寒かったです。

ブレーキが...

下り坂は上り坂よりずっと速いんです！ペダルを漕ぐ必要がなく、とても嬉しかったです。なぜなら、私は前日にサンダルで歩いたため、足を痛めて、ひどく日焼けしてしまっていたからです。ところが、下諏訪への下り坂は急で、連続的にブレーキを使わなければなりませんでした。間もなく、ブレーキがもの凄いい音を立て始めました！それらはとても大きな音で、キーキーとかん高い音を立てていて、私はブレーキが壊れるのではないかと心配になりました。峠を下るにつれて、前輪のブレーキパッドがどんどん小さくなっていくのが分かりました。幸運にも、何のトラブルもなく下諏訪に辿り着くことができました。しかし、私はすぐに、ブレーキを直すために、自転車店を探し始めました。自転車店を探すことができ、そして、修理をしてもらっている間に、ファーストフード店で昼食をとりました。修理には少し費用がかかりましたが、まだ、越えなければならぬ峠がいくつかあり、もうトラブルに見舞われたくありませんでした。

私は、小さな温泉にも立ち寄り、シャワーを浴びました。湯船にも浸かろうとしましたが、足の日焼けがひどすぎました！（入れませんでした）私はまた、とても大きな神社にも立ち寄り、とても変わった仏像を目にしました。それはまるで、雪だるまのようで、とても大きな石と、ちょっと小さな石からできていました。

諏訪峠は拷問！

その日の天気は快晴で、とても暑かったので、諏訪峠に向う前に、神社にある小さな滝の脇で昼寝をしました。和田峠のほうがずっと高いのですが、登るのは楽でした。諏訪峠はまるで拷問です！それはとても険しい丘で、道は垂直に登っているのです！1度に10歩しか三輪車を押し進めることができず、その度に、休憩をとりました！それは、本当にきつい道程でした。頂上にたどり着いた後でさえも、私は峠の反対側も三輪車を押して歩いて下らなければなりませんでした。なぜなら、下り坂もあまりにも急だったからです！その後、洗馬に到着するまで、私は三輪車を漕ぎ続けました。諏訪から木曾にかけて、中山道は古い家並みやお店がたくさんあり、丘陵は緑にあふれ、絵画のような美しさがありました。贄川に到着するまでは、とても美しくゆったりとした旅でした。

テントでの一夜

川の近くの野球場にテントを張りました。そこは絶好の場所だと思いましたが、暗くなると、さまざまな奇妙な雑音を聞き始めました。テントの中では、外部のあらゆる音を聞くことができ、聴覚もとても研ぎ澄まされてきます。全ての音がちょっと恐ろしかったのですが、動物の歩き回る音が聞こえました。ついに、陰が私のテントを横切るのが分かりました。それは狸でした！狸はテントを触り始め、それは私を困らせて楽しんでいるのだと思いました。私は「一人にしてくれ！」と叫び、お腹を空かした狸たちが藪の中に戻っていく音が聞こえましたが、そのまま眠ろうとしました。

短歌・俳句で綴る御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。



短歌

光り連れ山鳥ついと止まりしが目を睜りつつ翔び立ちゆけり
前田 悦子

冬を越す圍ひ野菜を室にいれ畑のかたづけやうやく終る
大井 藤子

眼帯を外せし瞬時もちろもろの色強すぎて目に刺さりくる
土屋 昭子

俳句

当季雑詠

吊るされて裂かれて切られ鯉鯨鍋 日々 忠雄

葉牡丹の渦の紫芯に濃く 土屋 春雄

山間の棚田しばしの冬日かな 松浦 靖子

霜に練れ野沢菜旨み生まれる樽 小林阿ぐり

照り翳り雲飛ぶ峰に鷹の天 内堀 隆久

Man Watching

#80

去年の10月から
オフトラックを担当しています。

Q1 趣味は？

最近、古典長編ロマン「源氏物語」にはまっています。

Q2 おすすめスポットは？

しな鉄の車窓から眺める「浅間山」

Q3 理想の人は？

パッションのある人

Q4 夢・目標は？

去年10月からオフトラックを担当させていただいています。今はインターネットから様々な情報をキャッチできますが、地域の情報をその地域ならではの視点で流し、地元みなさんに親しんでもらえたら嬉しいです。

Q5 まちづくりに一言

災害時の最新情報をどう伝えるかは大きな課題ですね。また、災害時には、ボランティアコーディネーターが必要だと思います。子どもから高齢者まで、みんなが助け合えるまちづくりができれば良いと思います。



Do! Sports

スケートで
全国大会出場
金澤 由希乃さん【御代田中1年】

御代田中1年の金澤由希乃さん(向原)が、スケートで県中学生体育大会に入賞し、2月3日から北海道苫小牧で開催される全国中学生体育大会に出場します。出場種目は500Mと1000Mです。由希乃さんは、担任の先生に勧められ、小学校2年の時に南小スケートクラブに入ってスケートを始めました。現在は、軽井沢中学スケート部と小学校時代から指導を受けている中学校外部コーチの大木房実さんと一緒に、軽井沢町の風越アリーナで練習しています。

由希乃さんの一言 監督・コーチ、スケート関係者、中学校のみなさん、一緒に練習してくれた軽井沢中学校スケート部のみなさんなど、たくさんの方々の支援があり、全国へ挑戦するチャンスをいただいたことに心から感謝します。「みやた」の名に恥じない滑り、行動で全国大会に全力を尽くしていきます。

コーチから由希乃さんへ 昨年、由希乃が小学校を卒業する時にもらった手紙に「コーチを絶対、全国大会へ連れて行きます！」と書かれていました。その言葉どおりになりましたね。大会まで残り少ない時間を大切に、堂々と滑ってください。



[右]大木 房実コーチ
[左]金澤 由希乃さん